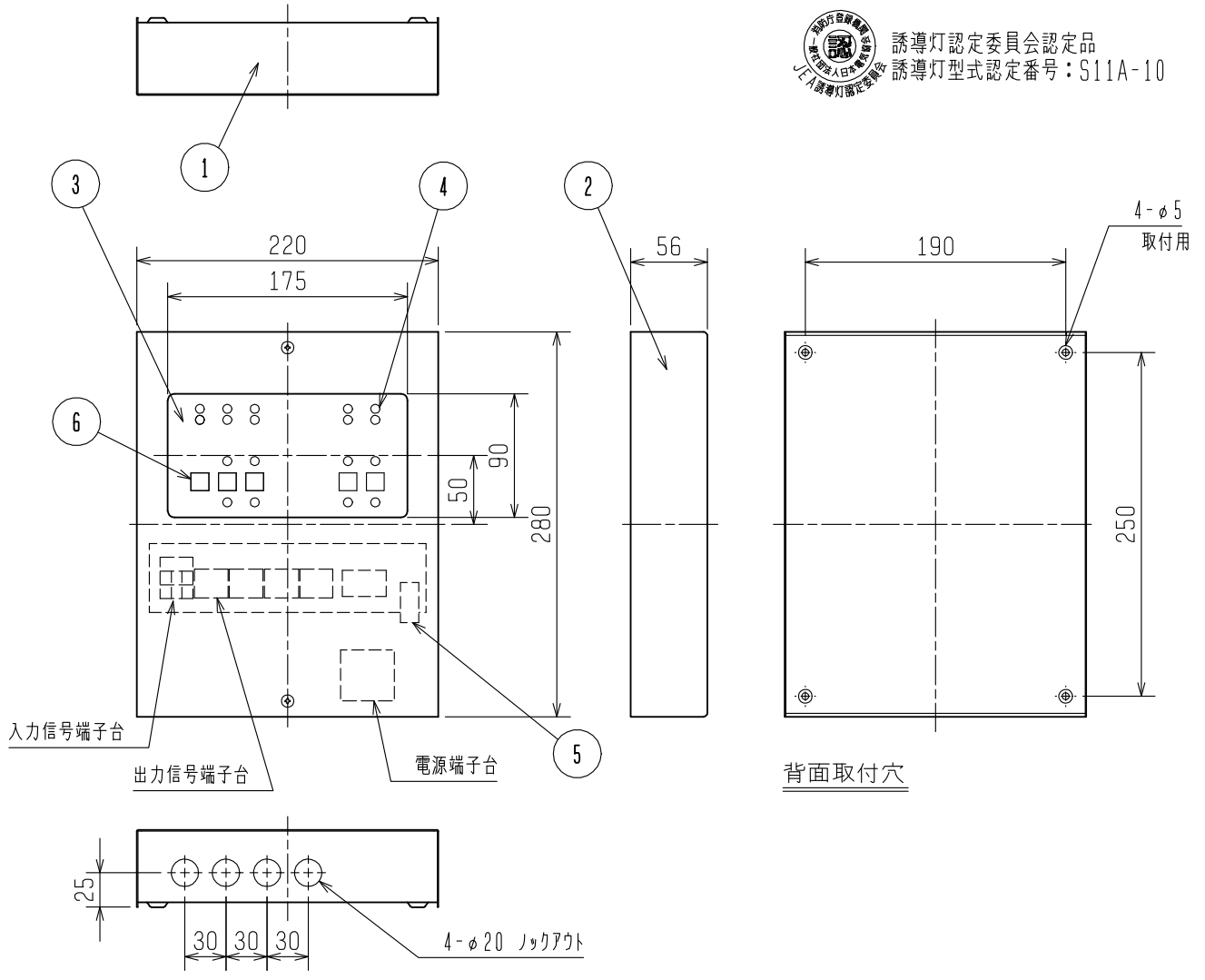


誘導灯用信号装置



誘導灯認定委員会認定品
誘導灯型式認定番号：S11A-10



ご使用に関するお願い

1. 信号回路に使用する電線は、信号装置との最速の点滅形誘導灯、減光形誘導灯または中継器までの長さを、電圧降下10%以内としてください。
2. 詳細については別紙説明書 (EY17911~17914)と中継器 EFS003N (EY16613) をご参照ください。
3. 停電時の動作補償はありませんので必要な場合は、EFS2401CNをご使用ください。

△ 安全に関するご注意

1. 一般屋内用器具です。屋外や水気・湿気のある場所及び腐食性ガスや油煙の発生する場所では使用しないでください。絶縁不良による感電や火災・落下の原因となります。
2. 壁直付け専用器具です。補強のない壁には取付けないでください。指定外取付けは、火災、落下の原因となります。
3. 周囲温度は、5℃～35℃の範囲でご使用ください。
4. 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
5. 過熱による変色・変形・火災の原因となります。

入力定格	
電源電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
入力電流	0.1A
	(最大負荷接続時: 4.1A)
入力電力	5.6W
	(最大負荷接続時: 405.6W)

動作(点滅)信号出力定格	
信号電圧	AC100V
信号定格容量	1A
信号回路数	1回路

消灯信号出力定格	
消灯信号電圧	AC100V
消灯信号定格容量	1A
信号回路数	1回路

検認	8			
諏訪	7			
	6	プッシュスイッチ	5	一括、手動、点検、復帰、点検
照査	5	ヒューズ	1	AC125V 10A(φ5.2×20mm)
丹下	4	表示灯	LED	18 赤、緑、黄色
	3	操作パネル	鋼板 t1.0	1 オフホワイト(マンセル5Y9/0.5)
設計・改定	2	本体カバー	鋼板 t0.8	1 オフホワイト(マンセル5Y9/0.5)
川崎	1	本体	鋼板 t1.0	1 オフホワイト(マンセル5Y9/0.5)
	品番	品名	材質・板厚	数 備考

形名	誘導灯用信号装置		
	EFS1050DN		
器具質量	約 2.0 kg		1/5
図番	EY17910-C		

誘導灯用信号装置

各部のはたらき

スイッチ/ランプ名	基本機能と表示ランプの状態
通電中ランプ	信号装置に電源（AC100V）が通電されている状態を表します。 通電時：点灯
移報入力ランプ	自動火災報知設備からの移報信号の入力状態を表します。 （点灯：移報入力時 点滅：電源投入時・移報解除状態で信号装置が未復帰状態 消灯：通常時）
復帰スイッチ	通常状態に復帰させます。（電源投入時および復帰時に操作します。）
PC出カランプ	外光連動（光電式自動点滅器）による誘導灯の状態を表します。 消灯ランプ（赤）が点灯：消灯しています。 点灯ランプ（緑）が点灯：点灯しています。
一括スイッチ	全ての誘導灯を一括で動作させる場合に操作します。緊急時、点検時にご使用ください。 点検ランプ（黄）が点灯：信号装置は一括点検モードです。 解除ランプ（黄）が点灯：信号装置は通常設定モードです。
手動/施錠出カランプ	手動/施錠連動/照明連動などによる誘導灯の点灯状態を表します。 消灯ランプ（赤）が点灯：消灯しています。 点灯ランプ（緑）が点灯：点灯しています。
手動スイッチ	手で誘導灯の点灯/消灯の切替を行なう場合に操作します。 消灯ランプ（赤）が点灯：信号装置は誘導灯消灯モードです。 点灯ランプ（緑）が点灯：信号装置は誘導灯点灯モードです。
点滅出カランプ	点滅形誘導灯又は、点滅装置の点滅動作状態を表します。 停止ランプ（赤）が点灯：停止しています。 点滅ランプ（緑）が点灯：点滅しています。
点検スイッチ	点滅形誘導灯又は、点滅装置の点滅切替点検を行なう場合に操作します。 点検ランプ（黄）が点灯：信号装置は点滅動作モードです。 解除ランプ（黄）が点灯：信号装置は点滅停止モードです。
減光出カランプ	減光形誘導灯の点灯状態を表します。 減光ランプ（赤）が点灯：減光しています。 全灯ランプ（緑）が点灯：全灯（100%点灯）しています。
点検・切替スイッチ	減光形誘導灯の切替点検を行なう場合に操作します。 点検ランプ（黄）が点灯：信号装置は全灯（100%点灯）モードです。 解除ランプ（黄）が点灯：信号装置は減光モードです。

- 1 この装置は、誘導灯を消灯するために、中継器と組み合わせてご使用ください。
また、消灯方法によっては、他の機器も必要となる場合がありますので、ご注意ください。
- 2 この装置と自動火災報知設備との連動により、非常時一斉点灯することができます。
また緊急時は、一括スイッチにより一斉点灯することもできます。
- 3 消灯方法は、ご使用目的によってお選びください。
 - (1) 手動
無人となった場合、管理者の方が手動で消灯できる方法です。
この場合は信号装置の手動スイッチにて操作してください。
 - (2) 施錠または照明連動
 - ア. 施錠連動・・・扉の施錠を自動的に検出し、施錠と連動し誘導灯を消灯させる方法です。
 - イ. 照明連動・・・有人の際、必ず点灯される照明器具と連動し無人状態で照明を消灯した場合、これをリレー等で検出し、自動的に消灯させる方法です。
 注)ア・イの各方法の併用はできませんのでどちらかを選択してください。
又(1)の手動スイッチと(2)とは併用できません。
 - (3) 外光連動
光電式自動点滅器（PCスイッチ）と連動し、昼間消灯させる方法です。
夜間で無人となった場合は、(1)又は(2)と併用し消灯することができます。
- 4 減光形誘導灯をご使用の際は、この装置の点検・切替スイッチを操作することにより、誘導灯を減光することができます。
- 5 点滅形誘導灯をご使用の際は、この装置の点検スイッチを操作することにより、誘導灯を点滅することができます。

検認
長谷川
照査
西田
設計・改定
石井
(慎)
1604

5						形名	誘導灯用信号装置 EFS1050DN			
4						器具質量	約 - kg	2/5		
3						図番	EY17911-B			
2						品番	品名	材質・板厚	数	備考

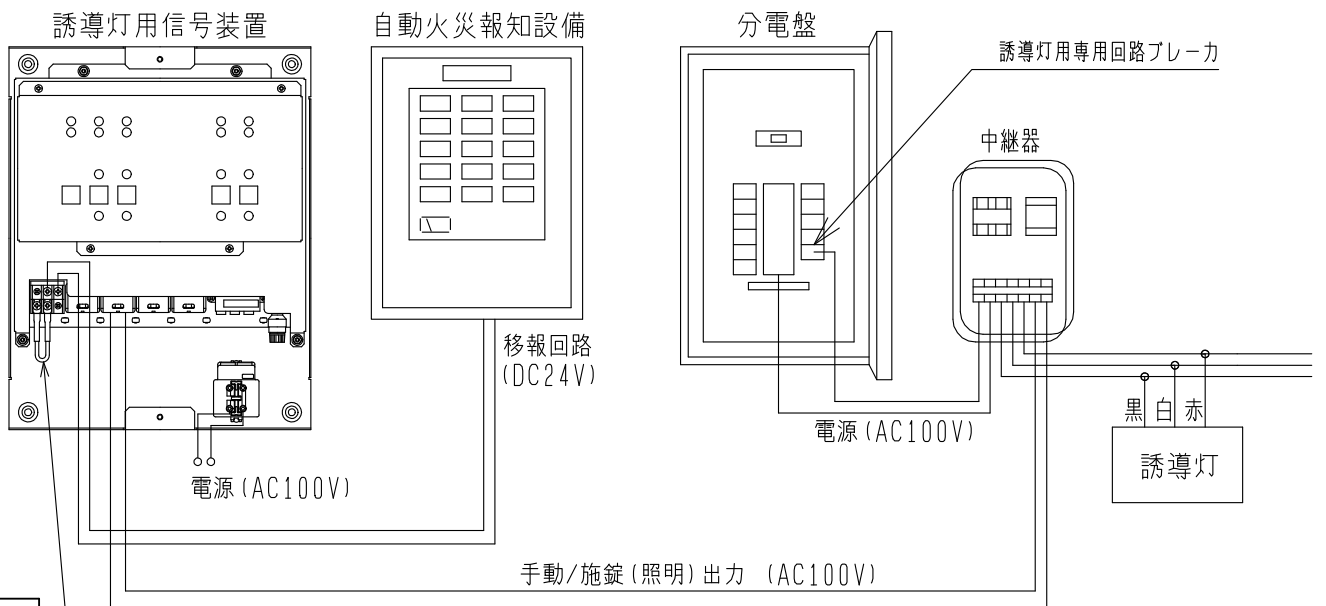
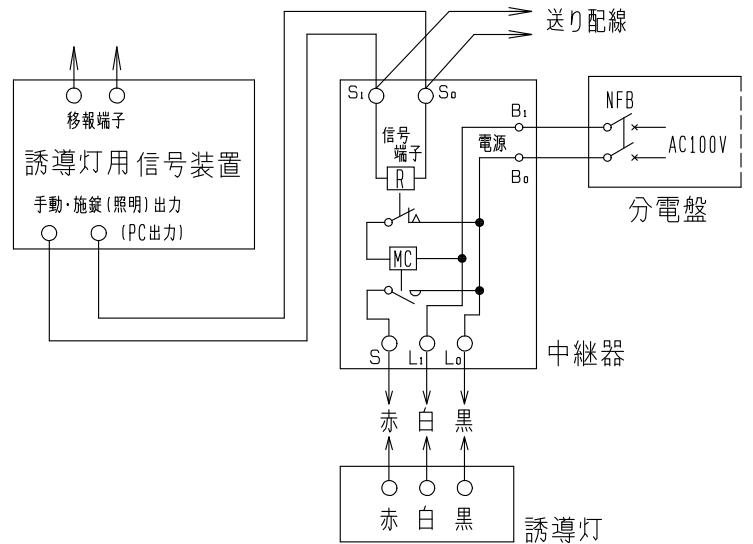
誘導灯用信号装置

- 6 誘導灯用信号装置の設置場所は、自動火災報知設備と同室に設けてください。
 自火報との連動の際は、自火報の代表無電圧b接点（常時ON）と信号装置の移報端子を接続してください。
- 7 中継器は、各誘導灯分岐回路に1台必要です。分電盤と併設してください。
 信号装置の各出力端子には、それぞれ50台まで接続できます。
 配線は、一般屋内配線とし、送り配線としてください。

(ご注意)
 ・信号装置の出力端子は、各1Aのため、
 中継器のリレー総負荷を1A以下に設定してください。

- 8 誘導灯は電池内蔵形の場合、3線配線としてください。
 消灯方法は、常用回路を中継器の電磁接触器で切替えて行ないます。

9 実体配線図（手動による消灯の例）



施錠・照明端子を使用する場合のみ
 短絡線を外して接続してください。

検認
 長谷川

照査	5						
西田	4						
	3						
設計・改定	2						
石井 (慎)	1						
	品番	品名	材質・板厚	数	備考		

形名	誘導灯用信号装置 EFS1050DN		
	器具質量	約 - kg	3/5
図番	EY17912-C		

1604 CA

単位 mm 第 3 角 法

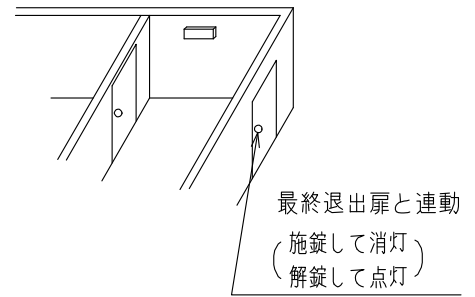
誘導灯用信号装置

10 施錠連動

この消灯方法は、建物の最終退出扉に施錠状態を検出する施錠スイッチを設け、これと連動し消灯させます。
この方法は、あくまでも、管理者が不在で自動的に連動させる方法ですから、有人の状態で消灯しないように、検出方法、スイッチの選定、施工方法等ご検討ください。

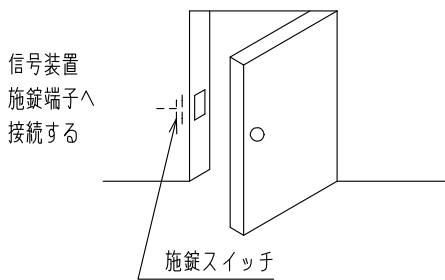
(ご注意)

- ・手動スイッチと併用して使用することはできません。
- 施錠スイッチは施錠時ONとなる接点を有したものを別途お求めください。

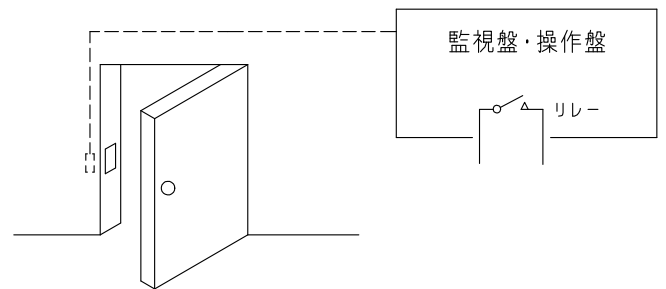


< 施錠スイッチと検出方法の例 >

(1) 扉の外枠に施錠スイッチを設ける場合



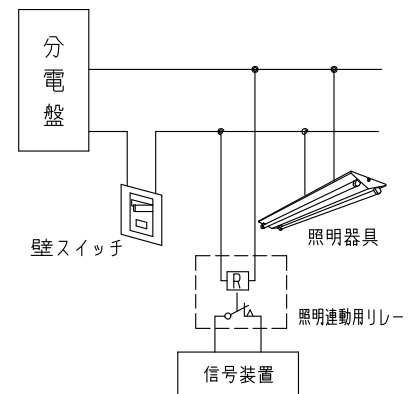
(2) シャッター等、有人の際は常に開かれており、無人状態では必ず閉じられる場所では、この開閉を防犯ドアスイッチ(マグネットスイッチ)等で検出する方法もあります。



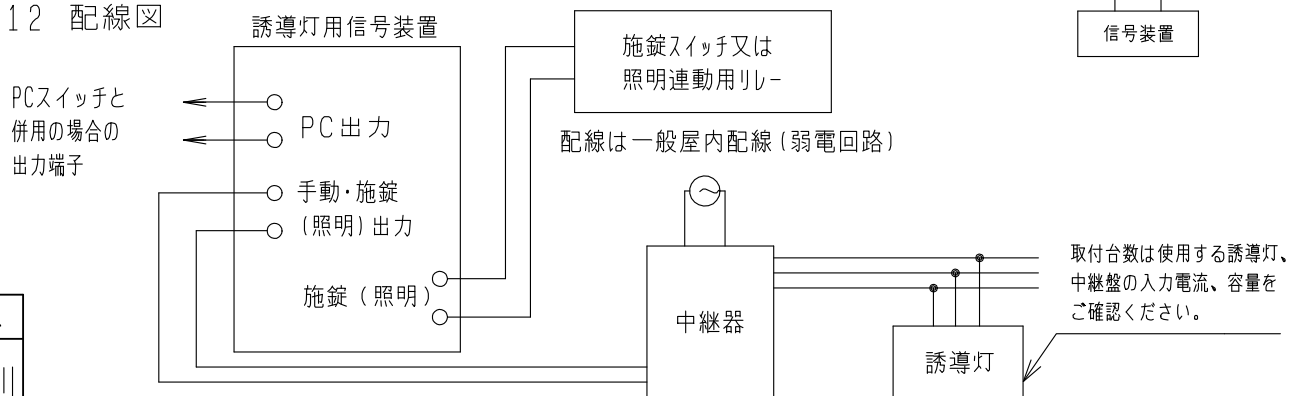
11 照明連動

有人の際、必ず点灯される照明器具と連動し無人状態で照明を消灯した場合、これをリレー等で検出し、自動的に消灯させる方法です。
照明回路が、複数以上に分かれている場合は、いずれか1つが点灯した場合でも、誘導灯が点灯するように構成してください。
この連動用装置は、リレーで構成し、消灯時ONとなる接点を照明連動端子に接続してください。

リレーは一般照明回路の電源電圧に合わせてください。



12 配線図



検認							誘導灯用信号装置	
長谷川						形名	EFS1050DN	
照査	5					器具質量	約 - kg 4/5	
西田	4					図番	EY17913-B	
設計・改定	2							
石井	1							
(慎)	品番	品名	材質・板厚	数	備考			
1604	CA						単位	mm 第3角法

誘導灯用信号装置

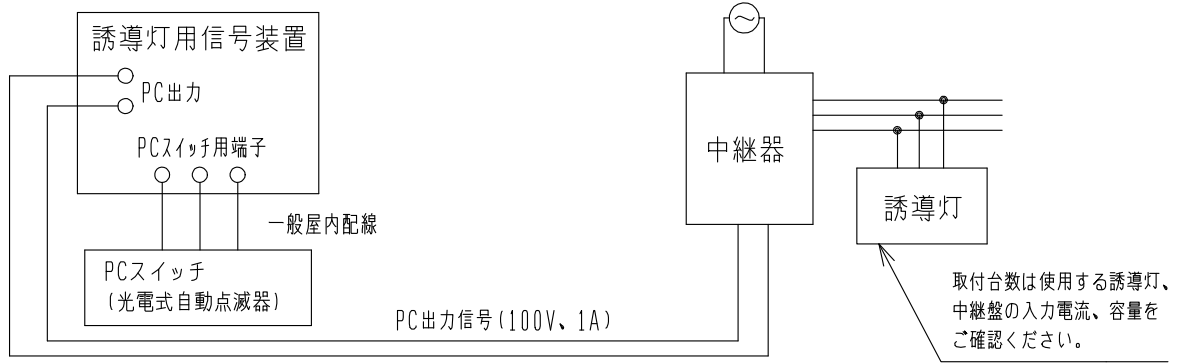
13 外光連動

この消灯方法は、昼光利用で充分明るさが確保できる場所の誘導灯を光電式自動点滅器と連動し、一時消灯させる方法です。これに使用する自動点滅器はJIS C 8369に適合する分離形のものをご使用ください。電源電圧は100V用に限ります。

注) 避難口、避難経路の明るさを検出できる場所に設けてください。一般に北面側に設けてください。

配線は、一般屋内配線としてください。

外光連動と手動スイッチを併用し、無人時消灯することもできます。



14 減光形誘導灯をご使用の場合

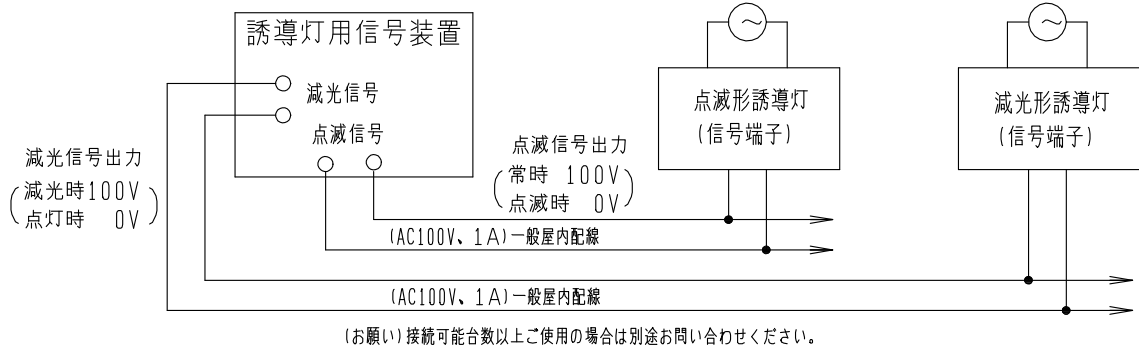
信号装置から減光信号を直接誘導灯の信号端子に送ることにより減光することができます。接続できる誘導灯台数は、誘導灯の入力電流値をご確認のうえ算出してください。

減光操作は、点検・切替スイッチで行なってください。

15 点滅形誘導灯をご使用の場合

信号装置から点滅信号を直接誘導灯の信号端子に送ることにより点滅することができます。接続できる誘導灯台数は、誘導灯の入力電流値をご確認のうえ算出してください。

点滅操作は、点検スイッチで行なってください。



(ご注意とお願い)

この信号装置を使用される場合は、事前に所轄消防署の承認を得てください。この際、消灯又は減光を行なう旨の関係図書を添えていただく必要があります。

- 1) 消灯する誘導灯に係る位置及び制御機器の位置図
- 2) 消灯する誘導灯及び設備に係る配線図
- 3) 無人状態の確認方法
- 4) 防火体制及び消灯操作責任者

以上の他に、各消防署より、必要になる書類がございますので所轄消防署にご確認ください。

検認							誘導灯用信号装置
長谷川						形名	EFS1050DN
照査	5					器具質量	約 - kg
西田	4					5/5	
設計・改定	2					図番	EY17914-B
石井	1						
(慎)	品番	品名	材質・板厚	数	備考		
1604	CA						